

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	52	学校名	仙台市立大和小学校	校長名	曳地 敏明
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「自然を好きになり、大切にする児童の育成」



2 取組の紹介

① 自然を好きになる活動

○各学年が、生活科や理科の学習の中で、植物を育てたり観察したりしました。また校外学習では仙台市の水の浄水の仕組みを知り環境への配慮の意識を高め、ごみ処理場ではごみの行方について熱心に学習しました。

○委員会活動では、プランターや花壇に定期的に季節の花を植え替え、季節ごとの花の美しさを知るとともに、理科室などでメダカや金魚、昆虫などの虫を飼育し命の大切さや生き物についての知識を深めました。子供たちは生き物に関するクイズを行い、全問正解者の中から抽選で飼育している生き物の餌やり体験ができる催しを考えるなど、生き物に対し学校全体で興味関心が持てる取り組みを行いました。



写真1 浄水場の学習の様子



写真2 ごみ処理場の学習の様子

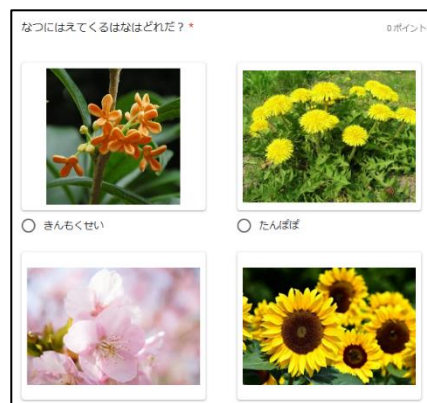


写真3 委員会で作成したクイズ

② 自然を大切にする気持ちを育てる活動「マキの木タイム」

○自然を好きになる気持ちと、身近な自然を大切にする気持ちを育てる活動に取り組んでいます。身近な自然を大切にする活動では、近隣の公園の落ち葉拾いを全校のペア学年で行っています。普段から子供たちが遊んでいる公園ですが、いざ落ち葉を拾うと落ち葉の多さに子供たちはびっくり。落ち葉の中にあっさりきれいな葉っぱを見つけて大喜びする子供たちの表情から、秋を感じる活動を通して自然を大切にする心が育っていることが分かりました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

○「自然を大切にする」をテーマにした活動は、様々な植物を育てる活動に取り組み、更に自然を大切にする気持ちを育てていきたいと思います。今年度は学年ごとに育てたい野菜や花などの希望を取り、その希望に合わせた肥料を配合するなど土づくりを行いました。その結果、大きな野菜が収穫できた学年や、きれいな花をたくさん咲かせられた学年が増えたので子供たちは世話をした植物の成長の過程に大満足の様子でした。

○身近な自然のある公園の落ち葉拾いなどに取り組みました。落ち葉を散らした植物が、次の春には青葉を茂らせ、木陰を作ったり、目に優しい緑の風景を作ったりして子供たちにも地域の人にも、すてきな憩いの場を提供してくれる存在であるということに、改めて気付く機会にすることができました。